

ひかりの丘



第106号

2023.3.31

社会福祉法人 いわき福音協会
福島整肢療護園
〒970-8001
福島県いわき市平上平窪字
古館1番地の2
TEL.0246-25-8131
FAX.0246-22-1259
<https://ryogoen.jp>
E-mail.info@ryogoen.jp



このチャペル(友愛記念館)は、宣教師ハーバード・ニコルソン氏をはじめ、全米各地のクリスチヤンの方からの善意によって、昭和38年9月16日に竣工し現在に至っております。近年は老朽化に加え、平成23年3月11日の東日本大震災の影響により外壁等の大きな損壊がさらに進んでいたため、令和の時代にふさわしい改修工事を行いました。



目次

| | | | |
|------------------|-----|----------------|---|
| 2022年の療護園 | 2~3 | 実習生について | 7 |
| 園長先生～夢を追うて～・新人紹介 | 4~5 | ご存じですか？ | 8 |
| 弘芽くん入学おめでとう | 6 | りょうご園カフェへようこそ！ | 8 |
| Happy通信 | 7 | 熱血くん | 8 |



2022年の

● 2022年、入園者
過ごされたのか





夢を追うて



福島整肢療護園
園長 吉原 康

2022年秋から礼拝堂の改修工事をしておりますが、2023年は礼拝堂ができてからちょうど60周年にあたります。大河内先生が礼拝堂建設に際してどのような思いを持たれていたのか、先生の書かれた『光の丘の子どもたち』の中から探ってみます。



私が結婚したのは二十七歳の時だった。妻に、「僕はいつかは医学と教育を結びつける仕事をする。百町歩ぐらいの原野を手に入れて、自給自足の病院を創立するんだ。耕作して、牛や羊を飼い、花をつくり、蜜蜂を養うもの処方のひとつだ。音楽を学び、チャペルで祈る。治療しつつ学ぶ労作ホスピタルを創るんだ」と抱負を語った。この夢らしいのが、三十年後にできた。それがこの園なのである。ただひとつ不足しているのがチャペルであった。その夢が実現する時が来た。

昭和三十八年九月十六日、チャペルが建てられ、鐘楼からならざれる鐘の音は、この丘から村を越え、川を渡ってきこえるようになった。どうしてこうなったか。

私が脳性小児麻痺児の幸せを守ろうと考えて、実際に働き出したのは、昭和三十一年八月十日、グリーンハウスの建設着工からである。

脳性小児麻痺児の専門病棟を建てた時は、各施設長のあいだでさえ批判的であったようだ。しかし私の着眼は正しかった。脳性小児麻痺児の療育には、段階がある。日常動作に、ある程度の自信がなければ、一般児童とともに生活するのはむずかしい。彼らの能力を伸ばすため、一般児童から少し離れたところに、専門病棟を建てた。

ここで規則正しい生活訓練を始めた。

新たなスタッフ共々、
今後ともよろしく
おねがいします!!



私は脳性小児麻痺児の生活を、
ひとびとに理解してもらいたい
と考えて、カラー映画『明日を待
つ子どもたち』を制作した。

ニコルソン夫妻は、こんどもまた、私のフィルムをもって、アメリカ各地に紹介して回った。一方私は、クリスマスカードに私の夢をかいて、アメリカにいる多くの友に送った。

こうしてチャペルを建てる計画が、静かに進んでいった。

チャペルは、多くのクリスチヤンの友愛によってできたので、『友愛記念館』と名づけ、玄関側の標札は、私の信仰上の恩師である大屋左一先生に御揮毫をいただいた。

九月十六日の献堂に、ニコルソン夫妻がわざわざ来日されて、献堂式に臨まれた。毎朝、職員は午前八時十五分から、このチャペルに集まるのである。

こうして二十七歳のときからの夢がやっと実現した。

昭和三十九年四月二十二日、
脊椎側彎症の世界的権威者である

ドクター・リッサー博士御夫妻が、千葉医大の立岩博士御夫妻とともに、私たちの園を訪問して下さった。

このチャペルで、リッサー博士を囲んで開いた、なごやかな歓迎会は、リッサー御夫妻にたいへん喜んでいただいた。

リッサー博士は、日本整形外科学会の招待で来日されたのであったが、ロサンゼルス出発の際には、すでにわが園を訪問する予定であったそうである。

友愛記念会館が建設されたのは、ニコルソン御夫妻の陰の努力によって、集められた多くのクリスト教徒の信仰と善意の結晶であった。私の力によって実現したのではなく、国境を越え、人種を越えた友愛によって結実したことを、しみじみと痛感した。

社会福祉事業は、正にこの友愛によって支えられ、われわれもまた、報いを求めずに、奉仕すべきであることを、教えられた。この世はいつもたれつである。



一ノ倉
幸子

R4.7



鈴木
みゆき

R4.10



宍戸
遙

R4.4

リハビリテーション部
理学療法士

4月に入職しました宍戸です。
至らぬ点が多くあると思いますが、少しでも早く仕事に慣れて、少しでもお役に立てるようがんばります。よろしくお願ひいたします。

谷口弘芽くん

ご入学おめでとうございます!



僕は昨年4月から小学1年生になりました。

毎日先生のお話をよく聞いてお友達と一緒に勉強や係の仕事を頑張っています。どうしてそんなにおりこうさんかというと、家族や周りの皆から「こうちゃんは春からランドセル持って学校行くんだもんね!」と言われていたので、僕は入学する前から1年生になる準備がちゃんと出来ていました。初めの頃、お母さんは僕の事をとても緊張してるって言っていたけど そうではなくて、あれは僕のお兄ちゃんになった姿を皆に見せていました。僕は入学してから療護園や学校のお兄さんお姉さんに優しくしてもらえたのがとても嬉しかったので、2年生になったら僕ももっとお兄ちゃんになって1年生に優しくしてあげたいです。

今年も弘芽の
やる気溢れる
学校生活を
応援しています。
パパ、ママより



こうがくん、小学校入学おめでとう!

あっという間にかっこいいお兄さんになりましたね!

ピカピカのランドセルを持って元気に登校する姿を見れること、とてもうれしく思います。

こうがくんの素敵な笑顔でたくさんのお友達を作り、たくさんお勉強をして楽しい学校生活を過ごしてください!

保育士 吉成

弘芽くん小学校入学おめでとう!

桜舞い散る中、待ちに待った小学校への入学出来ましたね。

元気でお茶目な弘芽くん、たくさんのお友達と笑顔の毎日を送ってくださいね。心も体もたくましく大きくなってね。

看護師 西山

弘芽くん、入学おめでとう!

学校生活は初めてのチャレンジがいっぱいあって、ワクワクするね。この1年でさらに表情が豊かになって、いろいろな方法を使って自分の思いを伝えてくれるようになりました。毎朝登校していく姿はもう立派な小学生で、とてもかっこいいお兄さんです!先生やお友達とたくさんお勉強して、いっぱい遊んで、いっぱい食べてもっともっと大きくなってね。

リハビリテーション部一同

谷口弘芽くん、平支援学校小学部へのご入学おめでとうございます。

弘芽くんが療護園に入園されたのは2017年10月で、弘芽くんがまだ1歳7か月の時分でしたから、その弘芽くんが小学校に入学されるということは、ご家族にとっても我々療護園スタッフにとっても大変感慨深いものがありました。入学してから数か月間、お母さんが毎日高速道路を一人で運転して療護園まで来てくださり、弘芽くんが支援学校の環境や先生やお友達に慣れるまで一緒に通ってくださったことには本当に頭が下がる想いでした。

弘芽くんは赤ちゃんのうちから地元のこども病院で気管切開の手術をされ、療護園にいらした時から既に気管カニューレを装着していました。いずれは気管カニューレを外すことを目標にしていますが、いよいよ2023年にはそれに向けての具体的な取り組みが始まります。

しかし、それまでの間は気管カニューレは弘芽くんにとってなくてはならない大切なものです。気管カニューレから直接異物などが入らないように人工鼻というものをカニューレに取り付けるのですが、弘芽くんはこの人工鼻を実際に取り外してぽーんと投げてしまうことが、1日に何回もあります。しかもそれを実に得意気に、私たち職員に茶目っ気たっぷりな表情でやってみせてくれます。弘芽くんにはどうやったら職員が自分に注目してくれるか、よくわかっているのです。

週末はお父さん、お母さんの待つご実家に帰られることも多く、ご家族の愛情をたっぷり受けながら、平日は学校での学習や療護園でのリハビリを頑張っていること、そして最近ますます成長してきていることを、私たちも日々実感させていただいております。

これからも元気で、その天使のような笑顔で、私たちに幸せを振りまいてください。

園長 吉原 康



Happy通信

りょうごえんの芸術家 小松和音さん

和音さんは、入園してすぐはなかなか一人では歩くことが難しかったのですが、今では、軽々と歩けるようになるまで、リハビリをがんばりました。

普段は楽しみのおやつを食べたり、作品を作ったり、いろんな人に声を掛けたり、活動の中でスタッフの気持ちを和ませてくれています。
次は何を作ってくれるのかな??



皆さんも和音さんの作品を
楽しみにしてみてください。



実習生の受入

当園では、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保育士を志す学生や教育機関からの施設見学および施設実習等を積極的に受け入れています。

臨床の現場に立ち会うことで、医療人としての自覚を高める貴重な経験となっています。十分な指導と監督のもと、患者さんの意思を尊重し、安全とプライバシーの保護を厳守するよう努めておりまので、ご来園の皆様にはご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。



ご存知ですか？放射線科案内



診療放射線技師
高橋 剛士

入職し、はや7年目になりました。

診療放射線技師とは、厚生労働大臣の免許を受けて、医師又は歯科医師の指示の下に、放射線を人体に対して照射することを業とする者をいいます。

具体的に何を行うのかと言うと病院などで放射線を用いて画像診断(X線撮影・CT等)や治療(ガン治療)を行うことが仕事ですが、MRI、超音波検査など、放射線を利用しない検査業務や、放射線管理等の業務も行います。

以前は一般撮影と透視がありましたが機器の老朽化により新しい一般装置が入りました。療護園での撮影の内容の中で最も頻度が高い撮影は、脊柱側弯症や股関節脱臼が見られるため全脊柱・股関節が多いです。また、尖足のための足部の撮影、骨密度撮影などの整形外科分野から内科分野の呼吸器(胸部)・

消化器(腹部)まで様々な撮影があります。

利用者の大半は脳性麻痺、肢体不自由児・者の為、オーダーメイドの坐位保持装置、体幹装具、体幹付股装具、靴型装具を適合するのに撮影が必要です。

しかし、撮影時正しいポジショニングが必要であり、体動に弱いので、介助者、技師に支えながら撮影します。撮影は大変困難ではありますがその反面良い写真ができた時は喜びが倍増します。また、幼い利用者さんも多い為、優しい声掛けや、アニメのキャラクターの人形やタオル等を使い、不安の軽減にも努めています。

至らぬ点が多々あるかと思いますが、丁寧な対応を常に心がけておりますので皆様のご協力の程よろしくお願ひします。



スタッフ通信
りょうご園
カフェへ
ようこそ！

このコーナーでは、当園のスタッフが好きなこと、気になることなどなどを自由におしゃべりします。スタッフの新たな一面がわかるかも！

第19回は、りょうご園
支援員 大槻玲子さんです。

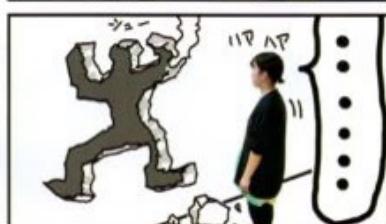


初めまして。
支援員の大槻玲子です。
私の休日ライフのごく一部を紹介したいと思います。
私は、子供の頃からミヤマクワガタが大好きで休日は、ほぼクワガタ探しをしています(笑)。まっ家族には迷惑がられていますがね…。
一番ハマってる採り方がライトトラップです。今年初挑戦!!した結果、想像以

上に沢山いろんなクワガタ、カブトムシが採れました。大きい物で75mm OVER。初めて見たアカアシクワガタもGETでき、大満足な年でした。今年も休日は日中～夜までクワガタ探しをしたいと思ってます。それとカブトムシの産卵もまたトライしようと思っています。去年は失敗だったので。早く夏が来るのが待ちどおしいです。

年の瀬にコロナが病棟へ忍びきました。しかし、みなさんが力を合わせ、拡大はしないよう対応してくれたお陰で、最小限で終息しました。今年はコロナで始まり、コロナで終わる一年となりました。今後も気の抜けない生活となります。明るい未来に幸多かれと願うばかりです。(洋)

編集後記



寄附者ご芳名 (令和4年度)

ご支援をいただきました皆様へ
深く感謝を申し上げます。

- 渡邊 信雄 様
- 柑野 洋 様
- 森島 智子 様
- 田仲 俊恵 様
- 星 邦子 様
- 猪狩 泰典 様

- 渡辺 コウ子 様
- 服部 芳裕 様
- 宗像 光一 様
- 高岡 忠 様
- 渡辺 さゆり 様
- 遠藤 和志 様

- いわきライオンズクラブ 様
- 太丸屋三延舗 様
- 伊相双キリスト教学園 様
- 大誠産業(株) 様

(順不同)